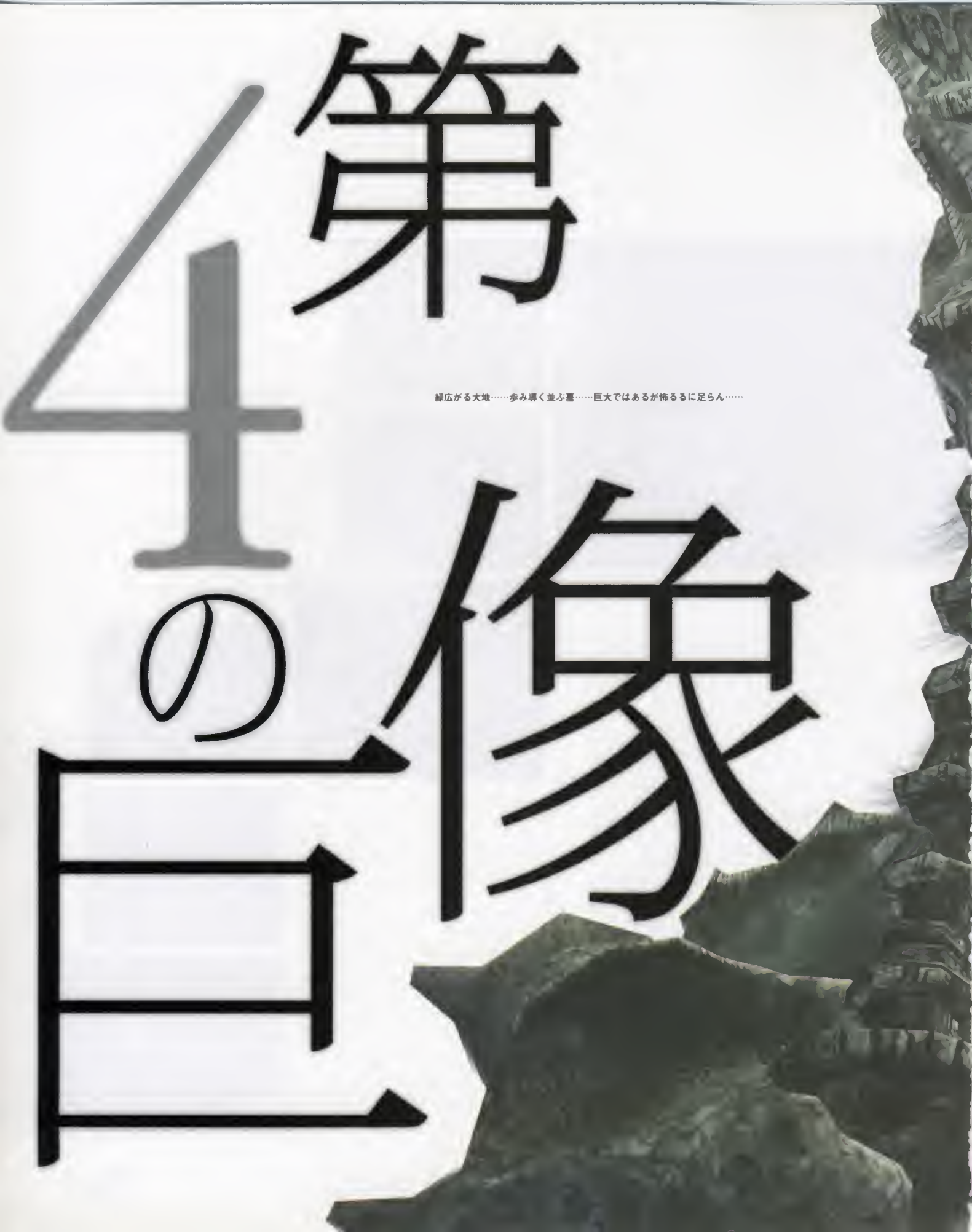
第4の巨像

緑広がる大地……歩み導く並ぶ墓……巨大ではあるが怖るるに足らん……



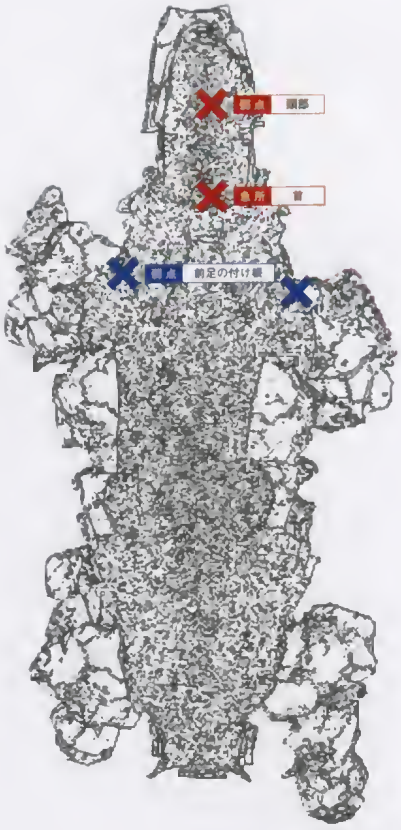
【第4の巨像】

特徴と対策

馬のような姿をした四足歩行の巨像。鋭く尖っている長い足が特徴的だ。頭部から臀部までは体毛で覆われているものの、前足と後ろ足、腹部にはまったく体毛が生えていない。

巨像の急所と弱点

弱点は頭部にある1ヵ所のみ。首の根本には急所があり、攻撃すると巨像が頭を大きく下げる。急所を攻撃する際は、力を溜める必要はない。力の溜め具合に関係なく、剣を2回突き刺せば巨像の体勢を変えられる。ハードモードでは、両前足の付け根に1ヵ所ずつ弱点が追加される。足の付け根にいるときには巨像が激しく揺れるため、落下しないように注意が必要だ。また、体毛が生えている部位の端に弱点があるため、慎重な操作が求められる。



【上部】

ノーマルモード　ハードモード

ステージ

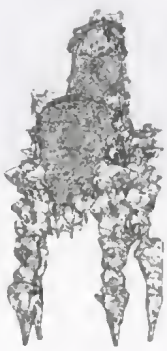
崖に囲まれた緑の大地。広場には墓のような4つの丘があり、側面にある階段から地下へ移動できる。地下は狭い通路で繋がっていて、どの階段にも移動可能。地下に入ることで、巨像から身を隠すことができる。

四面図

【前面】

【左側面】

【右側面】


【後面】

背中は、至るところに体毛が生えているため、落下の危険は少ない。ただし、頭部を目指すまでのあいだ、巨像は大きく体を揺らす。巨像が体を動かし始めたら、すぐに体毛につかまること。また、急所を攻撃せずに頭部に到達した場合、巨像は頭を大きく前後に振る性質がある。このままだと弱点を攻撃するのは難しいので、頭を振り上げたときにわざと手を離して背中へ落下。このあと首に移動して、さきに急所を攻撃したほうがいい。

振り落とし行動一覧

行動　頭を大きく前後に振る
└条件　ワンダが頭に触れている

行動　頭を左右に激しく振る
└条件　急所を攻撃後、ワンダが頭、首、頭に触れている

行動　両前足を上げて地面に叩きつける
└条件　ワンダが背中に触れている

行動　頭を左右に振る
└条件　ワンダが腰に触れている

行動パターン

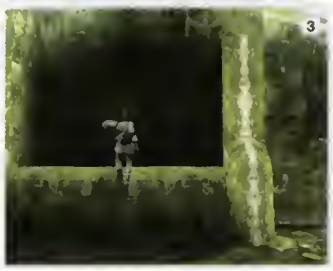
ワンダに向かって直進するように行動する。距離が近い場合は、足を踏みつける攻撃を仕掛けてくる。ワンダが正面にいない場合は、動きを止めて旋回する。巨像に矢を当てると移動速度が高くなるという性質があるので、近づくのを待ちきれないときは活用するといい。視界が狭いのか、ワンダを見失うことが多い。

攻撃方法

ワンダが巨像の前方にいる場合は、鋭く尖った前足を地面に突き刺してくる。直撃を避けても地響きでワンダの体勢が崩れてしまうので、必ず距離を取るように回避すること。また、巨像の背後にいるときには、後ろ足で蹴り飛ばす攻撃を仕掛けてくる。攻撃を食らうと吹っ飛ばされるので、背後にいるときは要注意。

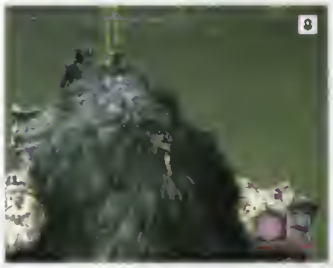
対処法

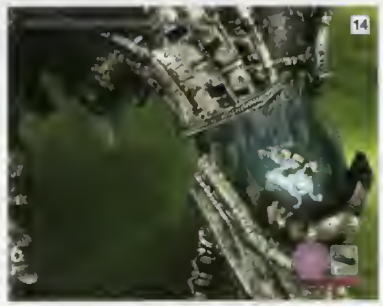
ワンダが地下に入ると、巨像は階段の手前で止まり、前足で地面を突き刺す。足を3回突き刺したあと、地下の中を覗き込む動作を行う。覗き込んでいるときは姿勢が低くなるので、この隙に尻尾からよじ登ることができる。ただし、覗き込む動作を行う前に周囲を見回すこともあるので、焦って近づかないこと。



巨像攻略法

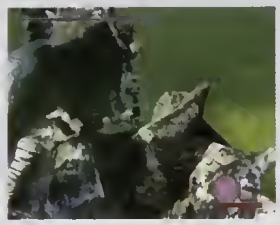
1〜5　巨像の体勢を変えるため、まずは地下へ。地下に入る際、巨像を丘の上まで誘導しておかないと、巨像が覗き込んだときに尻尾につかまることはできない。アグロに騎乗しながら巨像からもっとも離れた場所にある丘へと移動して、下馬後に地下へ。そのまま反対側にある階段から地上へ出ると巨像を誘導しやすい。**6〜11**　巨像から身を隠しながら、巨像の様子をうかがう。巨像が地下を覗き込んだ体勢になったら、一気に近づいて尻尾に向かってジャンプ。そのまま臀部を目指して真っすぐよじ登り、首にある急所を目指そう。**12〜14**　急所に剣を2回突き刺して巨像の頭を下げさせたあと、頭部へと移動。急所を攻撃するときは、立った状態のまま剣を当てても問題はない。ワンダが頭部にいると巨像は頭を大きく横に振るので、巨像の頭に対して横になるようにしがみつくといい。最大まで力を溜めて剣を5回突き刺せば、巨像は力を失って崩れ落ちる。





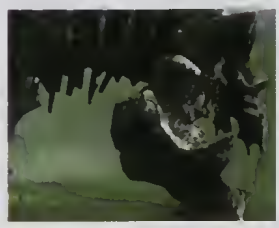
ハードモード

弱点は両前足の付け根部分にひとつずつ追加される。ノーマルモードと同じ要領で巨像の体によじ登り、まず前足の付け根にある弱点を攻撃しよう。頭部にある弱点から先に攻撃してしまうと、胴体へ戻るのが難しくなるのでオススメできない。



その他の倒し方

地下の入口付近で待機していると、巨像の頭にある飾りが目の前に現れる。飾りにはジャンプしてつかまることができるので、よじ登れば頭部まで到達可能だ。また、アグロ騎乗中、丘の高さを利用すれば、立ち乗りから後ろ足に飛び移ることもできる。



第5の正像

霧深き夜に巨大な影を落とし……宙を舞うモノ……水面震わす巨大な翼……

【第5の巨像】

特徴と対策

大鷲のような姿をした巨像。大空を飛び回り、急降下を仕掛けてワンダに襲い掛かる。背中から尻尾、そして両翼部分に体毛が生えている。両翼の突起物にはつかまることができる。

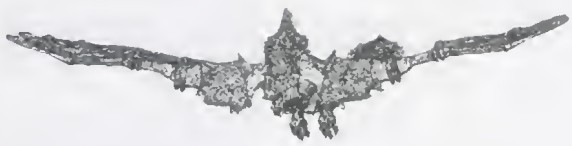
巨像の急所と弱点

弱点は両翼にひとつずつ、そして尾羽の先にひとつある。両翼にある弱点は、最大まで力を溜めて剣を1回突き刺せば紋様が消える。ただし、巨像が羽ばたくことがあるので、移動するだけでも苦労する。とくに、体毛が途切れている部分を移動するときは注意が必要だ。一方、尾羽にある弱点を攻撃するときは、巨像が大きく揺れることはないので簡単に攻撃できる。ハードモードでも弱点の数と位置に変化はないため、対処法はほとんど変わらない。

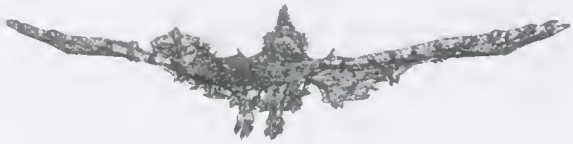
ステージ

霧が立ち込める湖で対峙することになる。湖には、小さな足場が点在していて、足場の上から巨像の体にしがみつくことになる。そのため、巨像の体から落下してしまった場合は、再び足場まで戻る必要がある。

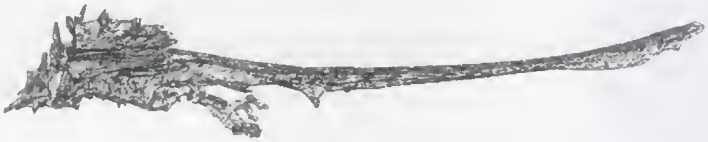
四面図



【前面】



【後面】



【左側面】

【右側面】

巨像の体につかまっているあいだは、巨像が特別な行動を起こすことはない。ワンダが落下しない限り、湖の上空を旋回し続ける。ただし、巨像は猛スピードで上空を飛び回っているので、巨像から少しでも足が離れると、一瞬で吹き飛ばされてしまう。そのため、軽率なジャンプは控えたほうがいい。また、羽ばたき時の揺れと、旋回中の傾きには要注意。

振り落とし行動一覧

行動　軽く翼を畳み、右回りで一回転する
└ 条件　右の翼の弱点を攻撃する

行動　軽く翼を畳み、左回りで一回転する
└ 条件　左の翼の弱点を攻撃する

行動パターン

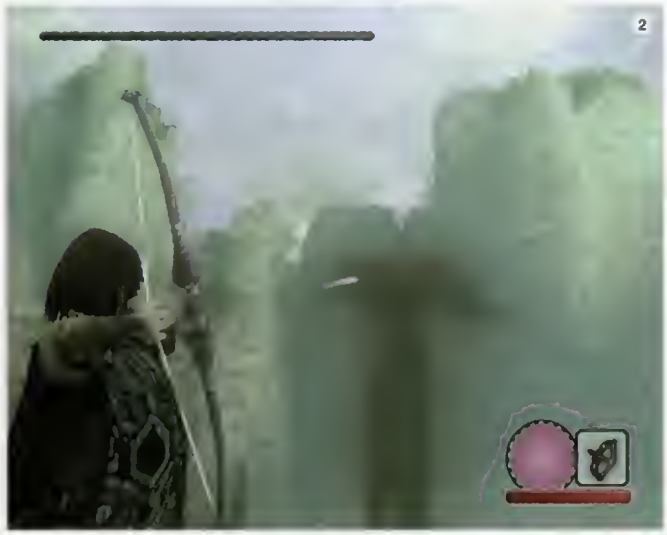
湖の中央に突き出た柱に鎮座してワンダの様子をうかがっているが、矢を当てると飛び立って上空を旋回し始める。ちなみに、⊗ボタンの口笛には反応しない。旋回中は、矢を当てなければ攻撃してくることはなく、放っておくと再び柱に戻っていく。巨像の体にしがみつくには、矢を当てて巨像を誘い出さなければならない。

攻撃方法

巨像が上空を飛び回っているときに矢を当てると、急降下から体当たりを仕掛けてくる。巨像は必ずワンダのいる足場の上を通り抜けるため、中央の足場に立っているときにじっとしていると直撃を食らうことになる。ただし、巨像の体がぶつかる直前にジャンプして翼につかまれば、ダメージを食らうことはない。

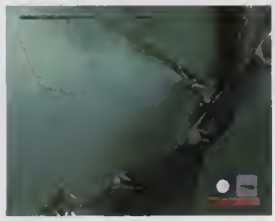
対処法

まずは、上空を旋回している巨像に矢を当てる必要がある。巨像の移動先に狙いを定めると、高確率で矢を当てられる。巨像注視を使いつつ、巨像が近づいた瞬間に矢を射るのも手だ。体当たりされる瞬間、足場の上から翼の付け根にある体毛にジャンプしてR1ボタンを押せば、巨像にしがみつくことができる。



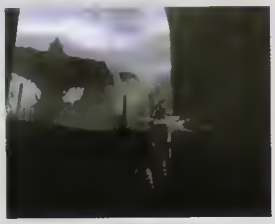
ハードモード

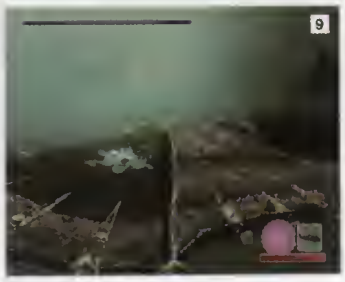
弱点の数は増えず、急所が追加されることもない。また、行動パターンや攻撃方法にも変化はないので、基本的な攻略法は、ノーマルモードと変わらない。ただし、巨像の体力が増えているので、倒すまでに必要な攻撃回数が増える点に注意したい。

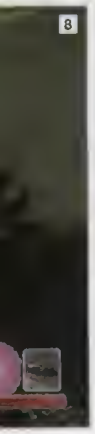


その他の倒し方

巨像の体にしがみつくためには、体当たりを誘発させるしかない。鎮座中にしがみついたり、建物から飛びつくことはできないのだ。ちなみに、スタート地点の高台から巨像に矢を当てると、巨像がその場で翼を羽ばたかせて風を巻き起こす動作を行う。







巨像攻略法

1～4　湖に足場が並んだ場所は6ヶ所ある。まずは、3つ足場が並んだ場所へと移動。中央にある足場の上に立ち、鎮座する巨像に矢を当てよう。巨像が上空を旋回し始めたら、再び矢を当てて体当たりを誘発させ、翼の付け根に向かってジャンプ。ジャンプ後、すぐにR1ボタンを押し続ければ、簡単に巨像の体につかまれる。**5～7**　巨像の体勢が落ち着いたら、翼にある弱点へ。風で体が後方に流されるので、やや斜めに移動するようにして一気に移動するといい。弱点を攻撃すると巨像は体を1回転させるので、腕力を大幅に消耗してしまう。無駄な腕力消費を抑えるため、必ず最大まで力を溜めてから剣を突き刺そう。紋様が消えたら、背中に移動して腕力を回復。**8～14**　同じ手順で逆側の翼にある弱点を攻撃。背中で腕力を回復後、ゆっくりと歩きながら尻尾へ。尻尾にいるときは巨像が体を激しく動かすことはない。最大まで力を溜めて剣を3回突き刺せば巨像を倒せる。

第6の石像

地下神殿に潜む大男……破壊を好み……知恵を持つ……

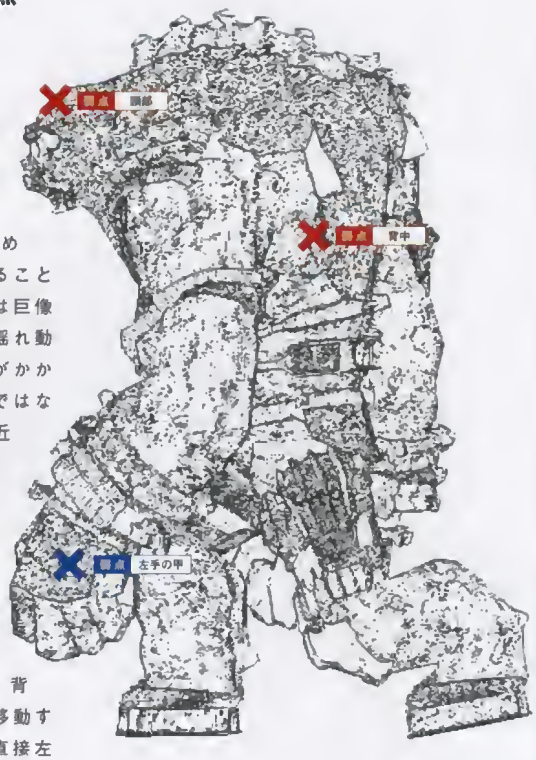
【第6の巨像】

特徴と対策

長い髭を蓄えた人型巨像。足には体毛が生えていないので、足から胴体へよじ登るのは不可能。第1の巨像と姿は似ているものの、動きが速く、しがみついているときの揺れも激しい。

巨像の急所と弱点

弱点は、頭部と背中の2ヵ所で急所はない。弱点を目指すためには、髭からよじ登ることになる。ただし、髭は巨像が歩くたびに大きく揺れ動くので登るには時間がかかる。頭部を目指すのではなく、髭からは鎖骨付近に移動したほうがいい。先に頭部にある弱点を攻撃して、肩から背中に飛び降りると効率がいい。ハードモードでは左手の甲に弱点が追加されるが、背中や胴体から左手に移動するのは難しいので、直接左手につかまるのが得策。



【左側面】

ノーマルモード　ハードモード

ステージ

地下にある神殿のような場所。何層にも区分された外壁は観客席のようで、劇場を思わせる構造となっている。2列ある石壁は脆く、巨像が触れただけで簡単に崩れる。また、奥にある建造物には身を隠せる空間がある。

四面図

【前面】

【後面】

【右側面】

【上部】

上半身は体毛で覆われているものの、両足には体毛がほとんどない。両腕も手の甲以外、体毛は生えていない。また、しがみついていると体を激しく動かすことが多い。とくに、背中につかまっているときは暴れる時間が長いため、腕力の消耗が著しい。弱点に剣を突き刺せば体の揺れを止めることができるので、状況に応じて剣を刺すのも手だ。腕力が残り少ないときは、肩に移動するのが無難。肩は水平に近いので、腕力の回復場所として重宝する。

振り落とし行動一覧

行動 前屈みから頭を大きく後ろに反る
└ **条件** ワンダが頭、首に触れている

行動 前屈みになり、胸を左右交互に突き出すように振る
└ **条件** ワンダが背中に触れている

行動 右肩を大きく円を描くように動かす
└ **条件** ワンダが右肩に触れている

行動 左肩を大きく円を描くように動かす
└ **条件** ワンダが左肩に触れている

行動 右手を頭の近くまで上げて、勢いよく下に振る
└ **条件** ワンダが右腕、右手に触れている

行動 左手を頭の近くまで上げて、勢いよく下に振る
└ **条件** ワンダが左腕、左手に触れている

行動パターン

戦闘開始直後から執拗にワンダを追いかけ、攻撃を仕掛けてくる。石壁があるため、行動がある程度制限されてしまうが、石壁はジャンプしてつかまれば乗り越えることが可能だ。奥にある建造物の1階部分に隠れると、必ずしゃがんで覗き込む。ワンダの姿が見えていると壁を叩き出すので、柱の陰に隠れるといい。

攻撃方法

ワンダとの距離に応じて、足で踏みつける攻撃と右腕を叩きつける攻撃を使い分ける。ワンダとの距離が近い場合は足の踏みつけ、遠い場合は右腕を叩きつけてくる。また、巨像の足下にいる場合は、左右の足で3度地面を踏みつけることもある。この攻撃は、振動でもダメージを食らってしまうので要注意。

対処法

弱点に到達するには、まず髭につかまる必要がある。ただし、奥にある建造物に隠れて巨像が覗き込む動作を行わない限り、髭につかまることはできない。建造物の1階部分にある柱の裏に隠れていると、巨像が中を覗き込んで髭が地面に触れる。この隙を逃さずに髭につかまり、弱点までよじ登ること。

巨像攻略法

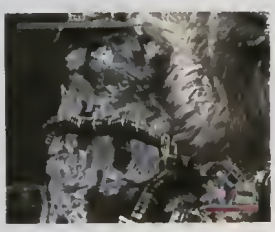
1〜5　巨像には目もくれず、奥にある建造物へ。途中にある石壁は、円柱部分につかまれば乗り越えられる。建造物にたどり着いたら、1階部分にある柱の裏に隠れて、ワンダの姿が巨像に見つからないように待機。**6〜9**　巨像が覗き込んできたら、髭に近づきジャンプしてつかまろう。髭は大きく揺れるので、すぐに鎖骨付近へと移動。巨像が立ち上がったときに髭が揺れるので、手を離して飛び上がり、巨像の左胸に着地するのも手だ。**10〜14**　鎖骨付近に移動したら、頭部にある弱点へ。頭部につかまっていると巨像は頭を大きく振り回すが、剣を突き刺せば動きは止まる。力が最大まで溜まっていない場合でも、状況に応じて剣を突き刺すといいだろう。紋様が消えたら左肩に移動して腕力を回復。、背中にある弱点は、背骨の左側にある。ワンダの体勢が整ったらすぐに力を溜め始め、巨像が暴れる前に剣を突き刺すこと。

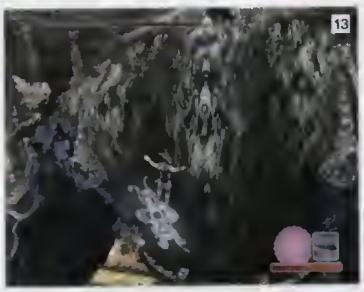
ハードモード

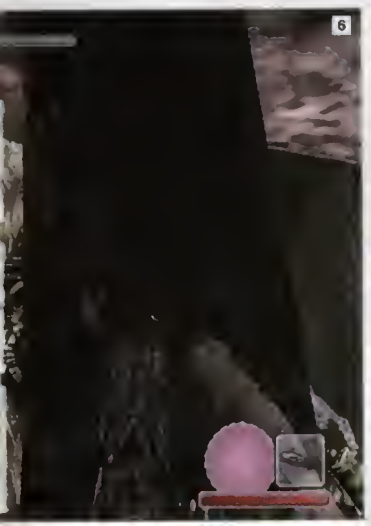
左手の甲に弱点が追加されるが、巨像の肩や上腕部分から移動するのは困難。巨像が建造物を覗き込むときに左手を地面につくので、この隙に剣を突き刺すのが得策だ。一度剣を突き刺したら再び建造物に隠れ、同じ過程を繰り返すと効率がいい。

その他の倒し方

右腕にしがみついていると、巨像が振り払おうとして右腕を振り上げる。じつは、このときにジャンプすることで通常よりも遥か上空へ飛ぶことができるのだ。一気に頭部に到達できるので試す価値はある。上腕部付近でジャンプすると成功しやすい。







第7の王像

湖に眠る遺跡……水中に潜む……いかずち放つ波紋……

【第7の巨像】

特徴と対策

ウナギのような細長い姿の巨像　頭部から尻尾の先まで、体の上面は体毛で覆われている。ただし、沼の奥深くを潜行しているため、全身を目視することはできない。

巨像の急所と弱点

【上部】

ノーマル、ハードモード

背中から突き出た3本の背ビレの根本に急所がある。背ビレは一定の間隔で電気を発しているのだが、急所に一定のダメージを与えると、黒く変色して電気を発しなくなる。剣を構えて力を溜めた際、ワンダがかけ声を発したときに剣を突き刺せば、一撃で機能を停止できるので覚えておこう。弱点は頭部にひとつ。尾ビレにしがみつき、背ビレの急所を攻撃しながら頭部を目指すことになる。ハードモードでも急所と弱点の数と位置は変わらない。

ステージ

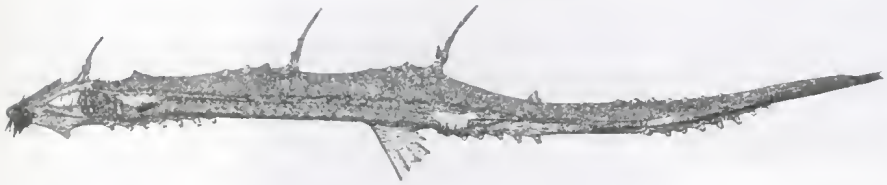
静寂に包まれた巨大な沼。あたりは暗く、水の透明度は低い。足場はほとんどなく、中央に螺旋状の塔が建っているだけだ。戦闘中は地上を動き回る必要はなく、水面でつかまるチャンスをうかがうことになる。

四面図

【前面】

【後面】

【右側面】



【左側面】

巨像の髭や側面から伸びるヒレにつかまることはできない。ワンダの姿を見つけない限り、巨像は沼の奥深くを泳ぎ続ける。ワンダが巨像につかまっても動きを止めることはなく、潜水と浮上を繰り返す。ただし、巨像につかまってから一定時間が経過すると、水中深くに潜行してしまい、呼吸が続かなくなって必ず手を離してしまうことになる。巨像が潜水するまえに頭部に到達し、弱点に剣を突き刺せるかどうかが勝敗の行方を左右する。

振り落とし行動一覧

行動　頭を上下に激しく振る
└条件　ワンダが頭に触れている

行動　水中深くまで潜水する
└条件　ワンダが巨像につかまってから一定時間が経過する

行動パターン

水中深くを泳ぎ続けているが、ワンダを発見すると水面近くまで浮上してくる。ワンダの姿に気づいたときには巨像の目が赤く光る。また、小さな唸り声を発するので、音にも注意を払っておこう。ワンダは水中では迅速な移動ができないので、巨像が近づいてくる瞬間を見逃さず、早めに対応するように心がけたい。

攻撃方法

電気を帯びた背ビレが巨像の唯一の武器。電気を発するときは、背ビレが黄色く発光する。水面に浮上してくるときは、電気を発しながらワンダに近づいてくる。ワンダが巨像の体につかまっているときにも、一定間隔で背ビレから電気を発するので、背ビレに近づくときにはタイミングを見計らう必要がある。

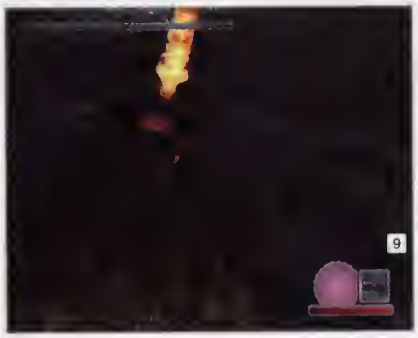
対処法

巨像が水面に浮上したときが体につかまるチャンス。3本の背ビレが水上に浮き出たあと、尾ビレが水面に出てくるので、近づいてしがみつこう。体にしがみつくと、巨像は波打つように動いて定期的に背中部分を水上へ出す。この隙に頭部を目指して移動。ただし、巨像が水中に潜るときはすぐ体毛につかまること。

巨像攻略法

1～4　巨像の姿を確認したら、水面を移動してわざと巨像に見つかる。巨像の正面よりも、側面に移動したほうが見つかりやすい。巨像が近づいてきたら背ビレの電気をかわし、尾ビレが浮き出たときにつかまろう。5～12　巨像の体が浮上したら、すぐに移動を開始。急所のある部位は体毛の色が若干黒ずんでいる。この黒い体毛部分は、電気が届く範囲を知る目印となる。タイミングを見計らい、急所への攻撃が間に合いそうもない場合は必ず黒い体毛部分の手前で待機して、つぎのチャンスを待とう。13～14　3ヵ所の急所に剣を突き刺し、すべての背ビレの機能を停止させたら、あとは弱点を攻撃するだけだ。力を最大まで溜めて剣を突き刺したいところだが、巨像が水中に潜ると溜めが解除されてしまう。浮上した瞬間に力を溜め始め、潜水するギリギリまで力を溜めてから剣を突き刺すといい。

8


9

10

11

12

ハードモード

弱点の数と位置は変わらないので、ノーマルモードと同じ対処法で問題はない。ただし、電気の威力は比較にならないほど高く、連続でダメージを食らうだけでゲームオーバーとなってしまう。慎重な行動を心がけて、確実にダメージを与えること。

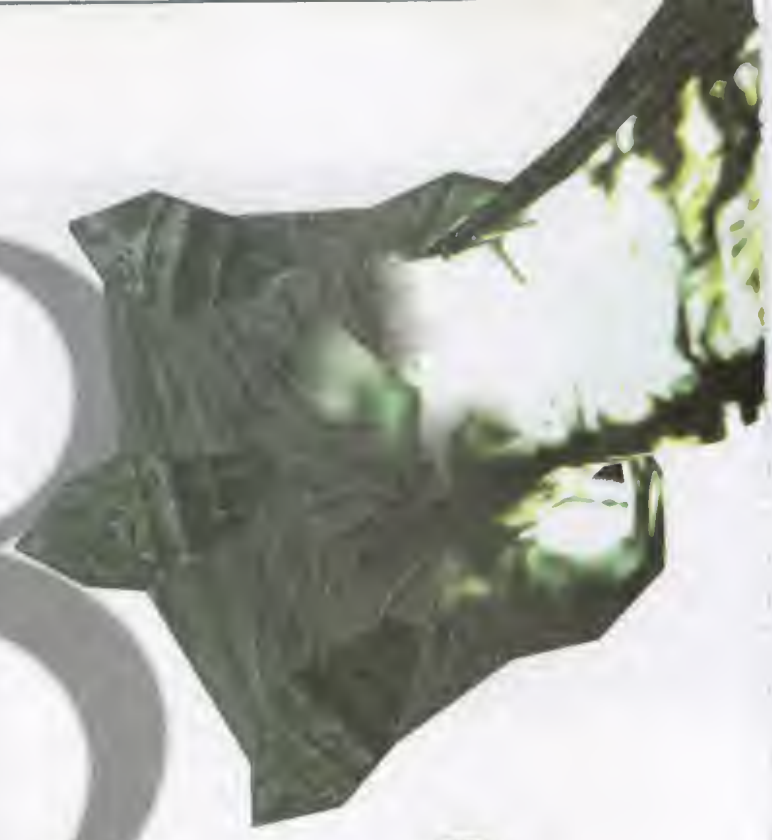
13

その他の倒し方

どんなに急いで移動を行っても、3つ目の急所を攻撃した時点で巨像は潜水を始める。だが、頭部にギリギリまで近づいた状態で3つ目の急所を攻撃すると、巨像が頭を振る動作を優先させるため、潜水を行わなくなり、一気にトドメを刺せるのだ。

14

第8の像



森深く桶の底に閉じ込められた尻尾……豊つたう影

【第8の巨像】

特徴と対策

首から尻尾までを硬い鱗で覆われた、ヤモリのような姿の巨像。垂直の壁を縦横無尽に動き回り、口から光弾を発射。背中は電気を帯びていて、触れると弾き飛ばされてしまう。

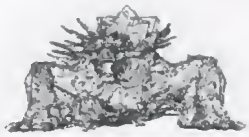
巨像の急所と弱点

すべての足に急所があり、巨像が壁につかまっているときに弓で射抜くと、その足を壁から離すことができる。どの足でもいいので2本の足を射抜けば、巨像を地面に叩き落とし、ひっくり返すことが可能だ。弱点は腹部に2ヵ所。胸と下腹部にひとつずつあるが、どちらの弱点から攻撃しても問題はない。また、ハードモードでも弱点の数と位置は同じ。急所の数と位置、攻撃したときの反応も変化はなく、ノーマルモードの攻略法がそのまま通用する。

ステージ

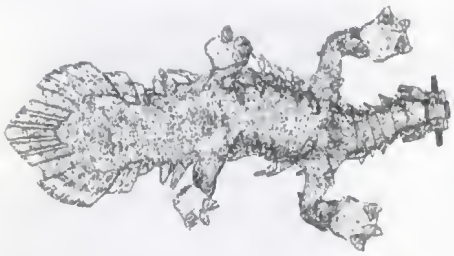
戦いの舞台となるのは、闘技場のような円柱状の建物。中央の広場は吹き抜けとなっていて、周囲を建物が包み込むような構造となっている。建物内は、階段で各階に移動可能で、巨像が内部に入ってくることはない。

五面図

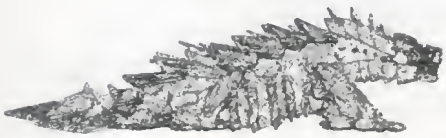


【前面】

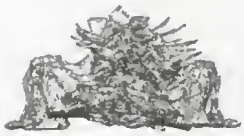
【左側面】



【上部】



【右側面】



【後面】

体毛が生えているのは腹部だけで、ひっくり返さない限り、巨像の体につかまることはできない。壁に張りついているときに2ヵ所の急所を矢で射ると、地面に落としてひっくり返すことができる。ただし、ひっくり返っている時間は、落としたときの高さに応じて変化。最上階までおびき寄せて地面に叩き落せば、弱点に剣を4回突き刺すことも可能となる。

振り落とし行動一覧

行動　体を左右に振る
└条件　ワンダが頭、背中に触れている

行動パターン

中央の広場を徘徊しているが、ワンダを発見すると壁を登って近づいてくる。弓を射るか、⊗ボタンを押して口笛を吹けば、わざと気づかせることが可能。ワンダが建物内にいるときは、直接攻撃を仕掛けてくることはないが、地面にいるときに尻尾側に近づくと、尻尾でなぎ払うような攻撃を仕掛けてくるので注意。

攻撃方法

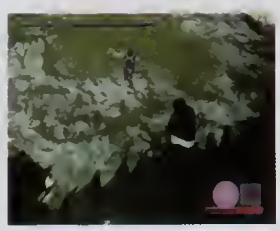
ワンダに向かって口から光弾を3連続で発射する。光弾は、着弾すると周囲に黄色いガスのようなものを発生させる。ガスに近づくと猛スピードで体力を奪われるので、迂闊に近づかないこと。また、ガスは壁を通り抜けるので、建物内に隠れているときも注意が必要。ガスから大きく距離を取るように回避しよう。

対処法

弱点を攻撃するためには、巨像を高所におびき寄せたあと、急所を2ヵ所射抜いて地面に落とす必要がある。巨像は地面に落ちるとひっくり返り、一定時間もがき続けるので、この隙に弱点を攻撃。矢を射るときは、壁が崩れている場所か格子の外側が最適。格子の外側へは、前転回避でくぐり抜けるといい。

ハードモード

弱点の数と位置はノーマルモードと同じだが、巨像の体力は飛躍的に増えている。尻尾による攻撃を食らうと大幅に体力が減るので、弱点を攻撃するときは深追いせず、起き上がり始めたらすぐに建物内に逃げ込むこと。少し臆病なくらいが丁度いい。



巨像攻略法

1〜3　巨像を地面に叩き落すため、建物の最上階から矢を当てるか、口笛を吹いて巨像をおびき寄せよう。すると、巨像がワンダがいた場所を目指して壁を上ってくるので、気づかれないように同じ階層を移動。**4〜7**　巨像の急所を狙いやすい場所まで移動したら、急所を矢で射抜く。ふたつ目の急所を射ったら、前転回避で格子を潜り抜けて地面に向かって落下。そのまま地面に着地すると大ダメージを食らうので、着地直前に必ず格子外側の縁をつかむこと。**8〜14**　ひっくり返った巨像の腹部に登り、まずは下腹部にある弱点を攻撃。ただし、巨像が起き上がり始めたら、すぐにその場から離れること。起き上がるときは、流れている曲が変わるので簡単に判別が可能だ。巨像が起き上がったら建物に逃げ込み、最上階に移動して再度巨像を地面に落とそう。あとは、この動作を繰り返すだけだが、光弾のガスにはつねに細心の注意を払うこと。

その他の倒し方

巨像が壁を登ってきた際、足の急所を射抜く以外にも地面に突き落とす方法がある．腹部に矢を3本射ることで、巨像を落下させられるのだ．格子から腹部が見える位置まで巨像を誘導すれば、至近距離から矢が射れるので、急所を狙うよりも簡単だ。